

事 務 連 絡
令和 7 年 2 月 2 1 日

各 都 道 府 県 教 育 委 員 会
各 指 定 都 市 教 育 委 員 会
学校におけるICT環境整備担当課
附属学校を置く各国公立大学法人担当課
各 都 道 府 県 私 立 学 校 主 管 課 御 中
附属学校を置く各文部科学省大臣所轄学校法人担当課
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた
各地方公共団体の学校設置会社担当課

文部科学省初等中等教育局
学校情報基盤・教材課

「次世代の校務デジタル化推進実証事業」成果報告会の開催について

平素より、学校における教育の情報化に関して御尽力いただきまして感謝申し上げます。

この度、令和6年度「次世代の校務デジタル化推進実証事業」の下で実施している二つの事業に関する成果報告会を開催いたします。

重要性の高い情報である成績情報等を扱って校務を実施する「生成AIの校務での活用に関する実証研究」の成果報告会を令和7年3月7日（金）に、次世代校務DXのモデルケースを創出する「次世代の校務のデジタル化モデル実証研究」の成果報告会を令和7年3月14日（金）に実施しますので、別紙を御確認いただき、御参加について積極的に御検討ください。

つきましては、本事務連絡の内容を各都道府県教育委員会におかれては域内の市区町村教育委員会（指定都市教育委員会を除き、学校組合等を含む。）に対して、各都道府県私立学校主管課におかれては所轄の学校法人に対して、構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課におかれては所轄の学校設置会社に対して、周知いただくようお願いします。

【別紙1】（開催案内）「次世代の校務デジタル化推進実証事業」～生成AIの校務での活用に関する実証研究～成果報告会

【別紙2】（開催案内）「次世代の校務デジタル化推進実証事業」～次世代の校務のデジタル化モデル実証研究～成果報告会

【本件担当】

文部科学省初等中等教育局学校デジタル化プロジェクトチーム
校務DX推進係

TEL：03-5253-4111（内線3435）

Mail：digipt-kiban@mext.go.jp

次世代の校務デジタル化推進実証事業

～生成AIの校務での活用に関する実証研究～

成果報告会

申込
不要参加費
無料

校務DXを通じた学校の働き方改革や教育活動の高度化の実現に当たって、生成AIを積極的に利活用することも有用と考えられます。一方で、一般向けの汎用的な生成AIサービスでは成績情報等を入力することができず、利活用できる内容に限界があります。令和6年度「次世代の校務デジタル化推進実証事業」では、適切なセキュリティを確保し、個人情報等を扱うことができる環境における生成AIの校務での利活用の可能性について実証研究を行いました。埼玉県新座市・愛知県岩倉市・兵庫県宝塚市・沖縄県石垣市が構築した環境やその取組内容等、本年度の事業の成果をご報告させていただきます。

対象

- ・ 教育委員会のICT環境整備担当者・責任者
- ・ 国公立の学校設置者のICT環境整備担当者・責任者
- ・ 各学校におけるICT担当者・責任者
- ・ 教育ICT環境整備に関する事業者 など

開催日時

令和7年 3月7日 金
14:00-16:00

開催形態

オンラインでの開催 (Zoom)

※本成果報告会の様子(動画)は、後日文部科学省HPに公開する予定です。

接続先

<https://us02web.zoom.us/j/88317090409?pwd=HbBkIosch7UdrePU8xD8GzK6qMVEEnN.1>

ID:883 1709 0409



プログラム

- 14:00-14:05 開会
- 14:05-14:20 事業概要説明
- 14:20-15:30 事業の取組・成果
- 15:30-15:55 質疑応答
- 15:55-16:00 事業推進委員長(※)総括/ 閉会

(※)国立大学法人奈良教育大学 大学院教育学研究科 准教授 小崎 誠二氏

主 催 : 文部科学省 初等中等教育局学校デジタル化プロジェクトチーム
お問い合わせ先 : PwCコンサルティング合同会社(委託業者)
jp_cons_edu_generativeai@pwc.com

令和6年度

「次世代の校務デジタル化推進実証事業」 ～次世代の校務のデジタル化モデル実証研究～

成果報告会

申込
不要参加費
無料

「GIGAスクール構想の下での校務DXについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」
(文部科学省 GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議(令和5年3月8日))を踏まえ、
令和5年度から次世代の校務デジタル化の推進に向けた実証研究に取り組んでいます。実証主体である新潟県・秋田県
で実施した次世代校務DX環境の整備やその運用等、本事業の成果をご報告させていただきます。

対象

- ・ 教育委員会のICT環境整備担当者・責任者
- ・ 国公立の学校設置者のICT環境整備担当者・責任者
- ・ 各学校におけるICT担当者・責任者
- ・ 教育ICT環境整備に関する事業者

など

開催形態

オンラインでの開催(Zoom)

本成果報告会の様子(動画)は、後日文部科学省HPに公開する予定です。

接続先

<https://zoom.us/j/98610644412?pwd=gBMxiQmODwKkPDtfWcqBLZEPzFvLH5.1>

ID:986 1064 4412 パスコード:273548



令和7年 **3月14日** (金)
10:00-12:00

主 催

文部科学省 初等中等教育局
学校デジタル化プロジェクトチーム

お問い合わせ

委託業者:株式会社NTT ExCパートナー
jisedai-info-ml@nttls.co.jp

プログラム

10:00-10:10 はじめに / 開会挨拶

文部科学省 初等中等教育局
学校デジタル化プロジェクトチーム

10:10-10:20 事業説明

株式会社NTT ExC パートナー

10:20-11:00 事業の取組成果

新潟県教育委員会 / 秋田県教育委員会

11:00-11:30 先進自治体の取組事例

奈良県奈良市教育委員会 / 兵庫県宝塚市教育委員会

11:30-11:40 質疑応答

11:40-11:55 事業推進委員の総評

11:55-12:00 委員長総括 / 閉会



事業紹介

整備率が年々上昇してきた校務支援システムは、校務の効率化に大きく寄与してきました。一方で、多くの教育委員会では校務支援システムを自前サーバに構築し、職員室に固定された校務用端末からのアクセスを前提として運用しており、教育DXや働き方改革の流れに適合しなくなっています。これらの状況を踏まえ、令和5年度の実証事業においては、校務系・学習系ネットワークの統合やパブリッククラウドを活用した校務処理等の次世代校務DXに関するモデルケース創出に向けた実証研究を実施しました。

今年度の本実証事業においては、昨年度の実証事業を発展させ、次世代校務DXの更なるモデルケースの創出を図るとともに、全国レベルでの次世代校務DXの効果的かつ効率的な展開を目指して、秋田県・新潟県を実証地域として、次世代校務DX環境の整備とその運用等に取り組みました。

● 参考

「GIGAスクール構想の下での校務DXについて ～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」
(文部科学省 GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議 (令和5年3月8日))
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/175/mext_01385.html



事業推進委員

(敬称略)

高橋 純

東京学芸大学教育学部 教授 **委員長**

小崎 誠二

奈良教育大学大学院教育学研究科 スクールDX研究室 准教授

高橋 邦夫

合同会社KUコンサルティング 代表社員

西田 光昭

柏市教育委員会 指導課 教育研究専門アドバイザー

藤村 裕一

鳴門教育大学 教員養成DX推進機構長

水谷 年孝

春日井市教育委員会 教育研究所 教育DX推進専門官

